

令和6年度 第2回民芸館運営協議会会議録

1 日時

令和7年3月5日（金）午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所

平戸橋いこいの広場多目的室

3 出席者

〔委員〕

佐藤 一信、水野 半次郎、釘宮 順子、近藤 善房、本多 謙二、内田 美穂子（以上6名）

欠席：小山 幾子

〔事務局〕

田境志保、高橋 健太郎、都筑 正敏、森 友義、深田 七海（以上5名）

4 会議の経過

会長あいさつ、出席委員の報告（6名）を確認し、本会議が成立することを宣言した。議事録署名人として、会長の他に水野委員を指名した。傍聴人なし。

5 会議内容

事務局

（1）民芸館施設の令和6年度の実績報告について

- ・資料1により、民芸館施設の令和6年度の実績報告について説明

会長

ただいまの報告についてご意見やご質問をお聞きしたい。

委員

展示会を3回開催して、アンケートのグラフは初めての来館が5割弱ぐらい、特別展目当てが7割ぐらいであり、比較的初めての人が多い。色んな広報の資料をきっかけに来館する人が多い。訪れた人の満足度も6割ぐらいあるので、チラシや広報活動に注力すると初めての人が増えてリピーターが増えると思うので、来年度もそういうところに力を入れて、新しい人に来ていただけるといい。

民芸の森について、名称が変わったことで新しいロゴができ、園路の砂利敷き、ハチの巣ができやすい木が伐採されて旧海老名三平宅が見やすくなり、来園者のために過ごしやすい環境を整えていただき感謝している。茶室に水道水の水栓があるが、飲めないと表示している。(近くに) 自販機などもあるが、暑い時期は水が飲みたくなるので、水飲み場など設置していただきたい。

会長

民芸の森は園内の整備が進んで過ごしやすくなっている。夏場の過ごしやすさ向上を検討していただきたい。

委員

質問が3点ある。

1点目は、博物館がオープンして民芸館の展示も博物館の展示を意識していると思われるが、博物館と民芸館を回遊していると感じられるか。

2点目は、年間通じて有料展にし、来館者が増えている状況は良い傾向かとは思いますが、今まで無料だったものが有料になってよかったことはあるか。

最後に、指定管理者制度を導入したことでの良い面と課題をお聞かせいただきたい。

事務局

回遊性についてアンケートからは読み取れないが、お客様とお話ししてみて、3館パスポートの影響もあり、博物館や美術館からお客様に来館いただいていると肌感覚として実感している。主要な交通手段が車なので、公共交通機関など交通手段の整備は課題かと思っている。

有料展であれば入館しないという方も一定数いるが、無料展から有料展になったことで無料展の頃に比べて入館料に値する企画を練っているという印象が与えられているのか、お客様の減少傾向はなく、むしろ増加している。

指定管理者制度の導入について、職員が庭園管理や講座など施設運営を担っていた頃に比べて展覧会事業に注力できるようになり、充実したと感じている。指定管理者にはお客様の対応を積極的に取り組んでおり、業務の住み分けができている。現在は移行期のため、新しいことをやるよりは施設の維持管理に注力した1年であった、次年度以降は実験的なことも始めていき、より良い施設運営を目指していきたい。

会長

有料展になったことで何が良くなったのか外に見えるといい。展覧会によって入館料に差がある点

についても、わかりやすくできるとよい。

委員

最近テレビでも民芸が取り上げられるようになったが、そういう機運があるのか、全体的に SDGs など生活に根差した人間の復興など手仕事に相乗効果があるようなメッセージが展覧会で与えられるとよいと思う。アイヌ展に若い来館者が多い要因として漫画の効果が挙げられたが、入口や出会いはどこでもよいので、交通手段がネックではあるが、機運が高まっている今こそ 3 館パスポートを活用しながらもっと発信していけるとよい。

委員

瀬戸民藝館は開館して 2 年程度になるが、有料化してただ見て通る人ではなく興味をもって鑑賞しにくる来館者が増えた。有料化して来館者層の傾向が変わるのは良いと思う。猿投という場所に豊田市民芸館があることは場所的に不便であっても恵まれたことだと思う。豊田市は合併して地域の資料館等が閉館しているが、しわ寄せはあるのか。

事務局

旧町村部の館を順次閉館しており、藤岡と稲武は 3 月に閉館する。閉館をしても地域での歴史継承は進めていく必要があると考えている。取組みとしては、交流館の一角に展示ゾーンを小規模に作って展示機能を移転し、地域の展示スペースを設けることを続けている。これまでの地域の資料館は来館者も少なく、地域住民や子どもたちが来館するには立地も不便であった。交流館は地域の方が生涯学習に利用する施設なので来館しやすいため、そういったスペースに移転して展示を継続している。収蔵資料は博物館で管理している。

委員

（車で来られる方向けの）道路の案内看板の修繕はされたが、（歩行者等に向けた）道路上に民芸館案内の看板がない。駅からの来館者は道に迷うことが多いため、公共交通機関で来られる方向けの案内看板等の整備を検討していただきたい。

委員

平芝のウォーキングコースのように「あと何分」などの案内が整備できるとよい。

事務局

平戸橋公園内にはご提案いただいたような案内看板を整備している。公園の外の整備は今後の課題として、来年度以降も引き続き検討していきたい。

(2) 令和7年度の実施予定事業について

- ・資料2により、令和7年度の実施予定事業について説明

会長

ただいまの報告についてご意見やご質問をお聞きしたい。

委員

民芸の森について、茅葺屋根の修繕はありがたい。令和8年度は民芸の森が開館10年目になるので、令和7年度から10年目に向けたイベントを検討していただきたい。

委員

民芸の森のアート展は森の空間と現代アートの展示の相性が良く、非常に良い空間であったと感じた。次年度のアート展の予定は決まっているのか。

おにぎり提供の隔週提供はいつなのかわかりづらい。第1週と第3週などわかりやすく発信してほしい。公式SNSを作るなどして、リアルタイムな情報発信を検討していただきたい。

事務局

アート展2回、民芸館の企画した展覧会を2回予定している。

公式SNSについては令和4年度に市の担当部局と協議した結果、開設は見送っている状況。SNSで情報を得る層は多いので、今後も課題として検討していきたい。

委員

SNSは開設するだけで終わらせず、継続する体制づくりも必要である。

会長

全体を通してご意見やご質問はあるか。

委員

豊田市は市域が広いので場所を生かしながら、民芸館や博物館のことを子どもたちの居場所となる

ような場所や新しいことを発見できる場所として発信していったほしい。

会長

以上で協議事項を終了する。